

参画と協働に関する県民意識・実態調査

(1) 調査の目的

参画と協働の意識の醸成を図るとともに、参画・協働条例の施行、具体的施策の展開を踏まえて、県民意識の変化、地域社会での地域づくり活動の実施状況の変化を把握するため、県民意識・実態調査を実施する。

(2) 調査対象 県内の18歳以上の男女（3,000人程度を想定）

一般県民（無作為抽出） 2,000人程度を想定

地域団体代表やNPO関係者、推進員、地域ビジョン委員、夢会議参加者など
1,000人程度を想定

(3) 実施時期 平成17年6月頃～10月頃

- ・ 6月～7月 調査票配布（4月～ 調査項目作成、事前調査等）
- ・ 9月～10月 結果集計

(4) 調査方法 郵送、県が実施する各種フォーラム、イベント等で配布

(5) 調査事項例

* 専門機関と連携し、事前調査等を行いながら作成することとする。

地域の課題に関する事項

項目	内容
暮らしやすさ	住んでいる地域は暮らしやすいか
地域の課題	地域には、どのような課題、改善が必要な点があるか（子育て、防犯、緑化、活動の場、環境保全、コミュニティづくり等）

地域づくり活動についての実態に関する事項

項目	内容
活動状況	地域づくり活動への取り組みの有無
(活動している人に) 活動内容	取り組んでいる活動の内容 ----- 今後の取り組み方向
(活動していない人に) 理由	取り組まなかった理由 ----- 今後の取り組み意向 ----- 今後やってみたい活動内容
(共通) 活動に必要なこと	活動に取り組むために必要なこと ----- 行政に望むこと等

地域づくり活動の支援方策について

項目	内容
支援方策の認知度	人材育成、資金、活動拠点にかかる支援や地域づくり活動が「ア・アップ」事業等、地域づくり活動を支援する方策を知っているか
(知っている人に) 活用度	支援方策の活用程度 ----- 活用している支援方策（人材育成、資金、活動拠点等）
(共通) 必要な支援方策	活動への相談体制、支援方策は十分か ----- 今後必要な支援方策、改善方向

県行政への県民の意識に関する事項

項目	内容
県政への関心	県政に関心があるか
県政情報の提供	県政情報は十分に提供されているか
県民意見の反映	参画と協働で県行政は展開されている(県政へ県民の意見が反映されている)と思うか
県政の身近さ	県政は身近になったか
県民局の機能	県民局は現地解決型の機能を十分に発揮しているか

参画・協働のしくみ(パブリック・コメント、審議会等の公募委員)の認知について

項目	内容
認知度	参画と協働の各種しくみについて、知っているか
応募の有無	パブリック・コメント、審議会等の公募委員等に提案、応募したことがあるか
(提案、応募したことがある人に)感想	これらのしくみに応募、参加した感想
(意見・提案しようと思わない人に)理由	応募、参加しなかった理由
(共通) 県政への参画・協働の意向	今後、これらのしくみを活用する意向の有無
(共通) 必要なこと	県政への参画・協働のために必要なこと ----- 望ましいしくみ、または改善点の具体的な提案

県職員の対応に関する事項

項目	内容
県職員の印象	参画と協働に関連する県職員への印象
県職員に望むこと	参画と協働による県政の推進のために、県職員に望むこと、期待すること

参画・協働条例の認知状況に関する事項

項目	内容
認知度	条例の認知状況
条例施行前後での変化	条例の施行前後で何か変化があったか ----- 条例の施行により変化したこと

自由意見

参画と協働の推進のために、必要だと考えることなど自由に記載

調査対象者の基本属性に関する事項(フェイスシート)

性別、年齢、居住地域、職業等